



RI会長 ステファニー・アーチック
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan



創立50周年
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2206 回例会

2025 年 1 月 27 日(月)



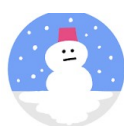
海南商工会議所 4F 12:30～

会員卓話 【職業奉仕月間】

「自分が考える職業奉仕とは」

楠山 友加江 君

職業奉仕委員長 上野山 雅也 君



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 28 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 73.68% 前回修正出席率 100%

4. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。先週は私たち海南東ロータリークラブの50周年記念講演、式典に参加ご協力していただきありがとうございました。お陰様で大成功に開催することができたと思います。尾木ママの講演会には約300人の方々が受付時間のかなり前から訪れ、多くの人々がメモを取って受講するなど熱気ある講演会だったと思います。比較的暖かい気温だったとはいえ長時間駐車場のゲートで案内していただいた皆さん、受付で対応していただいた皆さん、お迎えしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

結果的に当初計画していた海南福祉センターでの開催よりもずっと良かったと思います。尾木ママもマリーナの景色のすばらしさや皆さんの暖かいお迎えに感激されていました。

また、フィリピン、台湾両国のお迎えお見送りなど寺下さん、はじめ国際委員長の榊原さん財団の宇恵さん、副会長の前田さん有難うございました。

宮崎中央ロータリークラブの皆さんとのコンタクトを取って段取りしていただきました山畑さん、有難うございました。式典・祝宴に際しましても会員一丸となって対応していただき来賓のお客様もいい式典で



したとお褒めのお言葉をいただきました。

約1年前より準備し、当時雲をつかむかのようなイベントではありましたが谷脇実行委員長をはじめ私たち全会員40名の団結力を示すことができた。50周年であったと思います。あらためて皆様に感謝いたします。

本日はロータリーの職業奉仕月間に際しまして、上野山職業奉仕委員長と楠山さんに卓話をお願いしています。よろしくお願いいたします。

それでは少し遅くなりましたが1月6日に行われた理事会の報告をさせていただきます。来月第2週の9日日曜日海南のクラブ合同清掃活動を予定しております。今年も海南商工会議所から藤白神社を往復するルートを行うこととなっております。多くのご参加よろしくお祈りいたします。

次に家族会ですが日程は5月18日の日曜日で予定しております。行先の方は現在、岡さんはじめ、親睦委員会のメンバーで検討中です。2月17日の理事会までに提案していただく予定となっております。決まり次第ご報告いたします。

また、今回50周年に来ていただいたフィリピンマングラウエーロータリークラブを当初2月下旬に訪問の予定でしたが3月に訪問して奉仕事業の視察などすることになりました。

最後に2640地区より今後の予定の連絡がありました。会長エレクト研修セミナーが3月23日グランビア和歌山にて、地区研修協議会が4月27日和歌山大学にて、地区大会記念ゴルフ大会が10月20日月曜日レオグランドゴルフクラブにて、11月15日16日がスターゲートホテルにて地区大会とのことでした。

私たちの周年事業は終わりましたが、あと半期さらに頑張っ盛りに上げていきたいと考えております。皆さんどうぞご協力よろしくお願いいたします。

5. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

有田南 RC 2月18日(火) → 15日(土)

18:30～ 有田3クラブ合同例会 橘家

和歌山東 RC 2月20日(木) 18:30～

ダイワロイネットホテル和歌山4F

(創立記念例会)

1月は「職業奉仕月間」です

四つのテスト 是非はこれにまかしてから

① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

那智勝浦 RC 2月20日(木) 18:30～

「親睦会」 万清楼

○休会のお知らせ

田辺東 RC 2月12日(水) 26日(水)

那智勝浦 RC 2月13日(木) 27日(木)

6. 委員会報告

○会報、雑誌・広報 IT 委員会 寺下 卓 君

ロータリーの友で、職業奉仕月間にちなんだ「四つのテスト」について、詳しく、掲載していますので、ご覧ください。電子版の ID とパスワード。

7. 表彰伝達

○ロータリー財団 ポールハリスフェロー



宇恵 久視 君(第1回)



田岡 郁敏 君(第2回)

8. 会員卓話 【職業奉仕月間】

「自分が考える職業奉仕とは」 楠山 友加江 君



皆さん、こんにちは！改めまして 50 周年式典お疲れ様でした。田岡会長始め役員の皆様有難う御座居ました。司会をしてくださった前田さんと、榊原さんは息もぴったりで、まるで本物の MC の様でした。海外からのお客様をお

出迎えやおもてなしをして下さった皆様のお蔭で、海外のお客様とも楽しい時間を過ごさせて頂く事が出来ました。

式典の準備で早くから全ての準備段取りをしてくださった皆様、本当に有り難う御座居ました。式典が終わり、パーティを振り返って、大々大成功に終わった事を皆で喜べた事や、今回マリナーの料理もバランスがとれていて、今までで一番美味かった様に思えた事、全て良い事づくめで、本当に楽しい式典でした。一生の内の心に残る一つになりました。皆様有難う御座居ました。

これは個人的な意見ですが、田岡会長が大きくてどっしりして貫禄があるので、50 周年の時の会長にピッタリでカッコ良かったなと思いました。

さて、本日のテーマ職業奉仕についてなのですが、去年、たまたま、上野山さんの隣りに座させて頂いていたら、何か思いついた様に上野山さんが「そうや、職業奉仕についてお前話しせー」と話をふられ、大先輩なので「はい」としか言えず、嬉しいのやら悲しいのやらわからないまま、本日この場に立たせて頂いています。

私の職業は水商売でお酒を提供させて頂いたり、接客させて頂くお仕事です。いろんな職業のお客様や勿論の事です色んなタイプのお客様が来てくださります。今回のテーマは職業奉仕で奉仕と言う事について考えてみましたが、奉仕させて頂いていると言うより、私が色々お客様方に教えて頂いて勉強させて頂く事が多いので、今日の卓話何をお話しさせて頂いただけば良いか随分悩みました。

自分の仕事を振り返って思えば、お客様は多かれ少なかれ、誰もストレスを抱えていると思います。そのストレスを発散しにお酒を飲んだり、話をしに来てくださっていると思うので、そのストレスをどれだけうちのお店で発散して頂けるか、楽しんで頂けるか最近自分なりに考えています。

意私が若い頃は、お客様を楽しませないといけないと思い、必死に話をしたり、笑ってもらえるように努力しましたが最近は、お客様が話しやすく、話す事で少しでもストレス発散していただければ良いなと思っています。

聞き上手と言う言葉がありますが、聞き上手になれば、少しでもお客様が話す事で発散し、発散する事で楽になり、楽しんで頂けるのではないかなと思っています。

聞き上手になって少しでもお客様のお役に立てる様、日々努力していきたいと思っています。

今日お話しさせて頂いた事が奉仕になっているのかどうか分かりませんし、本日私の下手な話を最後まで聞いてくださり、有難う御座居ました。

PS.いつも皆様がお店に来てくださるので、うちのお店は客層が良いと言われる様になり、ロータリーさんのお陰だなと感謝しております。いつも有難う御座居ます。

職業奉仕委員長 上野山 雅也 君

今月は、職業奉仕月間ということで、人使いの荒い、いや、上手な執行部特に、角谷プログラム委員長にそそのかされ、このような運びとなりました。第一部は、楠山さんによる、職業を通じての奉仕ということで卓話頂きました。



私の方は、「職業奉仕」について一般的な話および個人的に思っています、倫理観等について他クラブの卓話や文献を参考に少し話したいと思っています。ロータリー活動において、これぞロータリーと一般に言われるのが「職業奉仕」であります。「ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践にある」と言われています。よく混同されるのが「社会奉仕」との区別です、自分の職業を通して社会に奉仕するのが職業奉仕であると思われる方がいると思いますが、自分の職業を通すと通すまいと社会に奉仕する事は、社会奉仕になります。しかし、この中に職業奉仕が含まれていないわけではではありません。

では、どう区別するのか、それは「受益者」が誰で

あるかということなのです。奉仕活動において、受益者が、自分以外の例えば地域の方々、もしくは地域社会である場合は「社会奉仕」であります。受益者が、自分自身の場合は「職業奉仕」にあたります。

例えば、私の職業で言えば 2 月に実施予定の合同清掃に参加しゴミを拾い海南市の美化運動の助けをする事、これは、受益者が、一般市民ということで「社会奉仕」になります。半面、自分自身が受益者になるという事は、例えば、正直不動産と言われております私が、お客様に対し誠心誠意行動しお求めのものを提供できた場合、またそれが収益に繋がってなかった場合においても、尊敬と信頼と信用を得ることで、受益者は、私であり「職業奉仕」となります。

「職業」とは金儲けの手段であり、これは、自分のためのものです。一方、奉仕とは、世のため人のためのものであり自分以外の「人のためのもの」です。全く正反対の言葉が一つになって「職業奉仕」と呼んでいるため、難解なのです。この言葉は、完全にロータリー用語であり、辞書にも載っていないようです。

この問題を理解するため、職業を営む心も奉仕の心も同じ思いと考える事です。つまり、「人を泣かせるような金儲けをしない、人を騙して金儲けしてもいけない、非道德的、非社会的行為をして金儲けしてはいけない、万事、世のため人のためになるような金儲けをしなければならない」ということなので自分の職業に対して強く「倫理性」を持つことが肝要であります。

次に、他団体との比較ですが、例えばライオンズクラブは、儲けたお金の一部を奉仕に使っていただき、職業時間の一部割いて、もしくは余暇の時間を使ってボダそうです。職業が同時に奉仕とは考えられず、個人の職業倫理を排除しています。

しかし、ロータリーは奉仕の基礎を職業倫理におき、職業の心も奉仕の心も一つの心だと考えます。そのため、ロータリーには倫理に反する儲けは存在しません。非倫理的な金儲けにおいて儲けたお金が奉仕に使われたとしても他団体は、問題にしません。なぜなら彼らは「NOT I SERVE, BUT WE SERVE」なので個人では奉仕せず、クラブが奉仕するわけで個人の倫理については何も言いません。一方、ロータリーは「I SERVE」となり奉仕は、個人の職業倫理において奉仕の心を職業社会に実践するものである。クラブは、その集合体であり、ロータリークラブとしての職業奉仕の実践機能はなく、団体奉仕という概念はないのです。皆様、ロータリークラブに入会される折にはクラブ員全員に入会お伺いするのもその方の倫理観性を問うものであり他団体にはこういう機能はないとの事です。

結論として、ロータリーの職業奉仕は、ロータリアンの奉仕の心を職業社会に実践するものであるからロータリアン一人ひとりの「個人奉仕」でありロータリークラブには職業奉仕の実践機能はなく、「職業奉仕」の団体である概念はないものと言えます。

現代社会において、職業倫理が強く叫ばれる時代は有りません。その、「職業倫理」を提唱するのが、まさに「ロータリー」なのです。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 2207 回 2025 年 2 月 3(月)

19:00～ 海南商工会議所 4F

お誕生日、結婚記念のお祝い



ニコニコ・BOX

谷脇 良樹 君 50周年ありがとうございました。

楠山友加江 君 本日卓話 よろしくお願
いいたします。

花畑 重靖 君 50周年 お疲れ様でした。
田岡 郁敏 君 上野山さん、楠山さん、卓話あ
りがとうございます。

楠部 均 君 //

前田 誠吏 君 //

Rotary NEWS

ロス山火事でロータリー会員が 被災者支援に乗り出す

ロサンゼルス地域で発生した大規模な山火事により、少なくとも1万2千棟の建物が崩壊し、住宅地が焼け野原となり、数万人が避難を余儀なくされました。

2025 年 1 月 7 日、ビル・“チリー”・チリングワースさんはカリフォルニア州パシフィック・パリスーズの自宅を出て、60 マイル南にある取引先に向かいました。その日は、普段と変わらない晴れた火曜日でした。

しかし、彼がこの自宅を目にするのは、これが最後となりました。午後、成人した娘から、チリングワースさんと婚約者が住む町の近くの溪谷から山火事の煙が太平洋岸に迫っているのを見たと言った電話がありました。最初は気にも留めませんでした。というのも、彼の住む地域は緑の芝生が広がる平坦な土地で、周囲に乾いた草地もないため、山火事の危険はほとんどないと考えていたからです。しかし、携帯電話の通知が鳴って避難指示が出た瞬間、突如としてパニックに陥りました。急いで自宅のある北に向かって車を走らせ、避難時に持ち出すことになっている「p」の付くもの（「人びと＝people」、「ペット＝pets」、「写真＝pictures」、「書類＝paperwork」）を持って避難するよう婚約者に電話で伝えました。

サンタモニカ近くのピザ屋で婚約者と会ったと、携

携帯電話にまた通知が届きました。新しい通知音が鳴るたびに、希望が少しずつ失われていきました。「自宅の寝室にある煙探知機が煙を検出したのです。5分後、台所が非常に熱くなっているという通知が来ました。さらに5分後、洗濯室で過剰な熱が検出されたという通知が届き、そしてついには玄関のドアが開けられたという通知が届きました。その後も、玄関ドアがまだ開いているという通知が2回届き、30分後に通知は完全に止まりました。そのとき、家も何もかも失くしてしまったことを悟りました」

支援の方法

- ・ロータリーの災害救援基金に寄付する。山火事の被災地域にあるロータリー地区は、必需品を即時に提供するための補助金を申請できます。
- ・Raise for Rotaryを活用して募金活動を立ち上げ、ほかの会員や友人・家族から寄付を募る。
- ・ロータリー会員による被災者救援活動や第5280地区と第5300地区による救援活動について、学ぶ。

チリングワースさんは、独自のユーモアを交えてこの辛い体験を語ります。火事がきっかけで、彼と婚約者は30年間の禁酒を破ってしまったと笑いながら話します。靴や下着を買うためにアウトレットモールに行った際、自分が数千人の避難者の一人に過ぎないことに気づき、再出発できるだけの経済的な余裕があるだけ幸いだったと感じました。

しかし、自分の住んでいた地域が燃えているのをテレビで見たときの「深い悲しみ」、そして地域社会での奉仕活動で「与える側」と「受け取る側」の両方を体験したことについて話したときでした。

ロータリーのネットワークが被災者を支援

ロータリーは支援を行う側と受ける側をつなげる場であると、チリングワースさんは言います。35年来的ロータリー会員で、サンタモニカ・ロータリークラブの会長エレクトである彼の元に、世界中のロータリー仲間から支援の申し出が続々と届いています。

このつながりが、彼が2回の大規模な募金イベントを計画し、参加する際の支えとなっています。3月1日には、毎年恒例のクラブの150,000ドル・チャリティーガラが行われ、その収益の大部分が山火事の被災者救援に使われる予定です。チリングワースさんはまた、1月下旬にシアトルで行われる募金イベントで、山火事の経験についてリモートで講演することになっています。

「迅速に行動を起こすのがロータリー」とチリングワースさん。彼のクラブでは、100人以上いる会員のうち四分の一近くが自宅を失ったにもかかわらず、積極的に支援活動を行っています。近隣にあるもっと小さなパシフィック・バリエーズ・ロータリークラブでは、全会員が家を失い、クラブの例会場も焼けてし

まいしました。

被災者の支援においては、迅速さだけでなく、的確さも重要だと、強調します。支援したいという気持ちがあっても、やみくもに物資を集めるのではなく、より計画的なニーズ調査が必要だと、過去の教訓から学びました。「地域とのつながりが深いロータリアンの力がここで発揮される」と言います。

ロータリー会員たちは、避難者のために保険や連邦緊急事態管理局(FEMA)の書類作成を手伝ったり、空き部屋を提供したり、必要な資金や物資(衣服や食料)を届けたりしています。しかし、支援活動にはもっと長期的な視点が必要。クラブでは、サンタモニカのクラブと連携し、「自宅の焼け後に戻った被災者が必要とする支援」に目を向けています。

両クラブは、自宅の焼け跡に戻った被災者たちが灰の中から安全に所持品を見つけられるよう、ふるいと防護具を提供しています。150個のふるいを地元のホームセンターが寄付したほか、会員たちは保護用ゴーグル、作業着、手袋、ブーツなどの防護キットを購入するために第5280地区の山火事災害救援基金からの補助金を申請しました。

ロサンゼルス全域でロータリーの活動を指揮しているのは、第5280地区ガバナーのアルバート・ヘルナンデスさんです。1月下旬の時点でまだ燃え続けている2カ所の間に位置する町で、ホームレス支援の非営利団体を運営しています。この活動を通じてこれまでも人びとのニーズに対応してきたヘルナンデスさんによると、ニーズは「寄付金」と「精神的な支え」の二つのカテゴリーに分けられます。

「寄付金があれば、必要なものを必要なときに買うことができる」とヘルナンデスさん。彼は、保管スペースがないためにロサンゼルス地域にある複数の避難センターが食料や衣類の寄贈を断っているのを目にしてきました。

地区の山火事災害救援基金には1月20日までに25万ドルが寄せられており、この資金は地域の支援団体や、家や事業所を失ったロータリー会員への支援、さらにクラブが立ち上げたプロジェクトへのマッチング補助金として使われます。

災害時に見られる地域社会の強い絆を「精神的な支え」と呼びます。危機対応時のこのような親密な絆は、国内外に広がり、多くの支援の申し出を呼び起こしていると彼は言います。特に、長年にわたり海外で奉仕活動を行ってきた彼にとって、今回の山火事でロータリーの奉仕の受け手になったことは感慨深い経験でした。支援を申し出たクラブには、今も戦争が続くウクライナのクラブもありました。

今後ますます厳しくなる火災シーズンについて、ヘルナンデスさんは警鐘を鳴らします。「多くの人は、私たちが家を失ったことを心配しています。しかし、事業も失ったことや、学校が焼けてしまったこと、そして子どもたちが学校に通えなくなったことも忘れてはなりません」と彼は言います。「日常生活にいつ戻れるのか、人びとは不安を抱えています」

ロータリー災害救援基金